

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズプラス六甲		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日		2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画に関する全ての項目で保護者から良い評価をいただくことができています。	面談やアセスメントシートを通して、保護者のニーズや児童の特性に応じた個別支援計画の作成を行い、策定会議を通して職員間で共有し、計画に沿った支援を提供することができています。	支援計画の更新面談時だけでなく、状況に応じて家族支援や関係機関連携を実施し、学校や他機関と連携しながらより児童の将来の可能性を広げられるような支援計画の作成、支援の提供を行っていく。
2	個別課題と集団療育を組み合わせ、多彩な活動プログラムを実施することができています。	毎月異なるテーマで5領域に応じて職員間で分担を行い活動プログラムの立案を行っている。個別課題では、微細運動、学習、SST等個々に応じた課題の実施を提供している。	集団療育の中でも個々の目標設定を行うようにし、同じテーマの活動であってもニーズや発達段階に応じて役割や内容の工夫をしていくようにする。
3	保護者への説明に関して運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を実施することができており、保護者から良い評価をいただくことができています。	契約時や運営に関して変更が生じた際には、紙面と口頭で説明を実施している。また質問等が生じた際にはメール、電話、連絡帳、対面等、保護者の状況に合わせて速やかに回答を行うようにしている。	各種マニュアルや非常災害時の対応等についてもより丁寧な周知・説明を実施できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の年齢や特性に応じて、より質の高い支援を提供すること。	未就学から中学生まで幅広い年齢の児童にご利用いただいている。法人内の中高生向けの教室には空き状況や送迎の面から移行が難しい面がある。	2026年4月より土曜日を追加開室。平日より長いご利用時間を確保できるため、就労や自立に向けて金銭のやりとりを目的とした課外活動、面接練習やマナー、軽作業等の療育も実施予定にしている。
2	緊急時や非常災害発生時の対応についての周知・説明方法を検討すること。	各種マニュアルや安全計画の策定、避難訓練等は行っているが、契約時やお便りでの説明が主となっていたため、より具体的な説毎が実施できていなかった。	契約時やお便りの配布のみではなく、送迎時や保護者会の機会を通して口頭でも説明を行うようにしていく。
3	保護者会の開催について回数や内容を検討すること。	上半期に保護者会を開催することができたが、年1回のみの開催であったため、日程の調整が合わなかった方や下半期よりご利用開始された方には参加していただけなかった。また療育参観と活動報告がメインであったため、保護者同士の交流の機会を設けることが難しかった。	上半期・下半期に1回ずつ年2回保護者会を開催できるように調整を行う。保護者会での療育参観や活動報告の後に保護者同士が交流できる時間を設けられるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズプラス六甲

公表日 2026年 3月 18日

利用児童数 22

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	5	1	0	・人数が多い日、活発な子どもたちが多い日は狭く感じる	発達支援室内を活動内容に応じてスペースで区切り、環境設定を行っている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2	0	4	・職員の退職や異動が多いように感じます。他教室と応援体制を取りながら人員を確保している様子があるので職員は足りているのかなど心配になることがあります。 ・専門性については、認識していないので。 ・利用者さんの人数と適切が分からない。	法令上必要な基準人員に加えて児童指導員や専門的支援職員を配置している。他教室は同一方面の送迎協力や療育見学等を通して、より安全に質の高い支援が提供できるよう連携を図っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3	0	1		日々清掃活動は実施しているが、固定化されてしまっている面もある為、定期的に清掃箇所や用具の見直しを実施するようにする。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・いつも丁寧に対応していただいています。活動内容についても子どもに合った内容になるようこまめに相談や提案をしていただいていると思います。 ・1つずつ丁寧にやってくださっていると思う	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	細かく説明して下さい	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	8	6		事業所や児童の特性上、地域の他の子どもと交流する機会はもてていないが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていききたい。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	6	2	3	あまり参加できていない。	法人内だけでなく、自治体や関係機関が実施している研修等にも積極的に情報提供を行っていきようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	0		支援計画の更新面談時だけでなく、必要に応じて家族支援や関係機関連携が可能であることをご案内していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	0		

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	4	少ないかもしれない	保護者会を開催することはできたが、年1回の開催となったため、新規でご利用された方や当日ご利用できなかった方にも参加していただけるよう開催時期や回数、内容の検討を実施していく。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	5		相談や申し入れの体制整備について、契約時に説明を実施しているが、ご利用年数が長い方もいるため、年度毎に説明の機会を設けられるようにしていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	2	自分が見れていないことが多い。	HPやブログの更新状況についてお便りにURLを貼る等して周知できるようにしていきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	3		各種マニュアルが策定されていること、発生を想定した訓練を実施していることを周知、説明していく必要がある。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	1	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	3		事故等が発生していないため「分からない」との回答が見られることも想定される。事故等が発生した際には状況に応じて医療機関や保護者への連絡、説明を実施している。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	2		
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	1	1	6時間目後の日なので正直長い日としてとらえている時もある	高学年となり下校時間が遅くなっても楽しみに通所していただけるよう児童の得意なことや興味関心を活かした療育を実施できるようにする。状況に応じてご利用日の変更の提案、下校時間に応じたご利用時間のご案内等を実施する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2	0	0	・多い人数の中よくしてくださっている。 ・本人も保護者もスマートキッズはとても信頼している居場所のため、中高生となっても継続していただけるよう、療育内容や送迎範囲を検討していただきたい。	中高生になっても継続してご利用していただけるよう学年や特性に合わせた居場所の提供・療育内容の実施を検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマートキッズプラス六甲				公表日	2026年 3月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースで区切り、課題や自由時間等、活動内容に応じて過ごしやすい環境となるよう工夫をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	法令上、必要な基準人員に加えて児童指導員、心理担当職員等を配置している。	送迎時等、一時的に教室内に職員が減少する時には、エリア内教室と送迎連携を行う等して対応をしていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	スケジュール表や手順表等を提示して分かりやすく構造化された環境となるよう工夫をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		施設の構造上、完全に個別の場所を設けることはできていないが、パーティションや机の配置を工夫する等してクールダウンスペースの確保に努めていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者からの事業所評価の集計結果により、保護者等の意向等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日々の業務前MTGや品質管理課との連携による支援会議等、支援や業務に関して改善案を出し合う機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		第三者による外部評価があった際には評価結果を業務改善に繋げられるよう努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	階層別研修や感染症対策研修、虐待防止研修等を実施し、職員の資質の向上を図っている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	策定会議を通して、職員間で支援計画の内容を確認、検討する機会を設けている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	法人内で統一されたアセスメントシートを用いて、実施やこどもの状況の確認を行っている。療育記録や連絡帳に日々の様子を記録している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個々に応じて必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容を記載している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	月毎にテーマを設定し、日毎に担当職員を決めて全職員で分担して活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週1回のご利用でも様々な領域のプログラムに取り組みめるよう、曜日固定せずにバランスよく立案をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別での課題・集団での課題をそれぞれ職員全員が理解し、課題に応じた支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		長期休暇や業務により、全職員がそろってMTGが実施できていないこともあるが、その場合は送迎表や集団療育シートに記載することで支援の内容や役割分担について確認をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	3	1		支援終了後に改まったMTGの場は設けることはできていないが、その日の出来事を都度共有し、内容に応じて翌日に意向にMTGの時間を設定している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録に記載するだけでなく1日を通して感じた課題について他職員に相談するよう心掛けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	個別課題や集団療育などで、職員間で話し合いのバランス見ながら支援できるよう努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自発的に動くことが出来る様な声掛けが多く行われていると感じる。また、気持ちが整わない様子が見られる時に、どうしたいのかを自己決定しながら取り組めるよう声掛けの工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	医療に関しては保護者を通して連携を図っている。保育所等訪問支援・関係機関連携を通して、学校と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0	学校便りの確認に加えて、保護者や学校の先生に口頭にて行事予定や下校時間の確認も実施するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		就学前の園や事業所と直接の連携を行う機会は実施できていないが、保護者を通して情報共有を行っている。今後実施できるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	2		小学生の児童が多く実施できていなかったが、今後中高生の児童も増えてくる為、卒業後の移行に関して連携した支援を実施できるよう情報提供を行っているようにする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		新規児童や新事業開始時の紹介等を通して連携を図っている。児童発達支援センター主催の研修や座談会に参加しているが、代表者の参加が主であるため、全職員に内容等を共有できるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		児童や事業所の特性から直接的な交流は難しい所もあるが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	地域の協議会や子ども部会に参加をしている。	代表者が参加しているため、全職員に競技会の構成や内容を説明していくようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援計画更新時の面談だけでなく、送迎時や連絡帳を通して状況や1日の様子を伝え合うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		法人内の研修だけでなく、自治体や他事業所が実施している研修の機会に関しても情報提供を行っていくようにする。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	子どもの得意不得意を事前に職員間で確認し、保護者の意思確認がしっかり行えるよう面談の機会を設けて計画を作成するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時や連絡帳・電話にて相談を頂くことがある。状況に応じて家族支援や支援会議を提案し、支援の統一や助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	長期休暇の休日に保護者会を実施した。定員以上に参加希望を頂き、2日間に分けて開催。多くの保護者にも出席していただくことができた。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	契約時やご利用開始の際に、法人内だけでなく自治体や関係機関の相談先を保護者に説明している。また苦情があった際には迅速に適切に対応が出来るよう体制についても職員内で確認している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月ニュースレターを発行し、活動内容の周知を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	実績記録票等は必ず複数名で確認している。個別課題プリントを含め、個人情報が増載されているものはなるべく児童の目に届かない事務室で保管するなどの対応をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	教室内には視覚支援目的として、文字カードの横に絵カードも同時に掲示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	毎月の避難訓練の実施とサービス提供記録や送迎時などで様子を共有できるように努めている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎年BCPを作成・更新し、全職員で内容の再確認を行えるよう工夫している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギー名・症状の内容などを事前にお伺いし、冷蔵庫にアレルギー表を貼っている。おやつ提供時には複数名で確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に基づいた訓練や研修などを実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全計画を作成し、年間の研修や避難場所についてお便りにて周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事故や業権に繋がる可能性のある事例が生じた際にはヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束について法人内で定期的に確認する機会を行い、身体拘束を実施した際や支援計画に基づき保護者への説明を丁寧に行えるよう努めている。		